

審議会名：大胡公民館運営推進委員会

会議名：平成29年度第2回大胡公民館運営推進委員会

日 時	2018年3月5日（月） 午前10時から午前11時20分
場 所	大胡公民館 会議室
出席者	(委員) 本間進委員長、新井ひろ子副委員長、阿部淑美委員、笠原弘委員 佐藤二郎委員、萩原昭子委員、臼田昇委員、前田みつ枝委員、松村澄人委員 (事務局) 蛭川館長、斎藤館長補佐、後閑副主幹、星野副主幹
欠席者	山口福二委員
議 題	1 平成29年度大胡公民館事業報告について 2 意見交換
配布資料	平成29年度大胡公民館事業報告 大胡地区コミュニティデザイン
問い合わせ先	大胡公民館 電話 027-283-0118

会 議 の 内 容

- ・蛭川館長から委員変更の報告。都合により千吉良委員から新たに前田委員に変更になり委嘱状を交付した旨。
- ・新井副委員長により開会。
- ・本間委員長のあいさつの後、同委員長を座長とし議事に入る。
- ・事務局から平成29年度大胡公民館事業報告について各担当より概要を説明、さらに、大胡地区コミュニティデザインの活用について説明し、その後、質疑応答と意見交換を行った。

【主な質疑・意見等】

(佐藤委員)

事業が多くてすごいと思うが参加者がなかなか集まらない講座が残念。

(笠原委員)

高齢者教室など女性がほとんどなので、もっと男性が積極的に参加できるような仕組み作りや工夫ができないものかと思う。

(本間委員長)

今は、男性も70過ぎまで現役で働いている方も増えており、平日の昼間では難しいのではないかと。無理なく参加できる女性には講座で学んでいただき、男性にはっぱをかけてもらいたいと思う。

(新井副委員長)

我々の団体でも他地区との合同研修を行なうが、他地区の公民館と合同で講座や研修など行なうのは地域間の交流になり非常に良い事だと思う。

(事務局)

生涯学習課では、公民館の事業別研修として担当者を集めて年度初めと年度末の2回、それぞれの事業毎に実績発表の研修会を持ち、職員間での情報の共有や交換の機会を設けている。

(臼田委員)

学習グループも高齢化が進み参加できない方も出でて新たな会員の確保も難しい状況である。

(本間会長)

提案ですが、広報等で学習グループの紹介や会員募集について公民館で取りまとめてもらい、是非いろいろな団体と相談のうえ発行してもらいたい。

(事務局)

館報では、スペースが限られて難しいので別な形で考えられればと思う。

(阿部委員)

文化協会も高齢化により退会するグループも出てきて、会員確保が難しくなっている。また、公民館利用団体として活動するだけでも文化祭には参加できるし、文化協会に加入してなくても何ら問題ない風潮になってきている。

(阿部委員)

また、わくわくの事業で親子参加の講座を行なった時の話ですが、保護者のエゴが多いような気がしてならない。公民館の講座は子ども向けと高齢者向けは充実しているが、その中間にあたる親世代の学びの場が出来ないものかと思う。

(事務局)

その世代を取り込むのは非常に難しく課題だと感じている。

(松村委員)

学校からの連絡関係は、メールを登録いただき一斉送信に出来るようになり非常にありがたい。ただ、考え方の多様化によりいろんな考えを持つ保護者が増えているのは確かで、やはり親の考え方や家庭での指導が子どもの成長には非常に大きな影響を与えるので親世代にそういう機会があれば意義のあることだと思う。

(佐藤委員)

育成会の役員は毎年変わるので広がりはあると思う。ただ、女性が多くて男性が少ないのが残念ではあるが、足固めをしていきたいと思う。

(臼田委員)

予算について公民館の改修など施設管理の予算はどこで持っているのか？

(事務局)

所管が生涯学習課のため事業予算、施設管理等もまとめて予算措置をしている。要求段階では、各公民館ごとにあげているが生涯学習課で取りまとめている。

(臼田委員)

今はシャンテを使って展示を行なっているが、より多くの人に観てもらうために公民館の壁面等への展示スペースや設備ができればありがたいと思う。

(事務局)

新しい東公民館などは広いスペースが設けられていたりするが、ここは元保健センターだったことからスペース的に難しいものと思う。

(阿部委員)

シャンテの横堀角次郎展示室やギャラリーの管理は、今は公民館ではないのか？昨年4月から、公民館が移転したのでわざわざシャンテに行くことが無くなってしまったので公民館に展示スペースがあればありがたい。

(事務局)

シャンテについては、文化国際課の所管となっている。

(本間委員長)

公民館での展示については、自由に出入りできるスペースでは管理上の問題も出てくるので難しいところもあるような気がする。

(阿部委員)

以前、大胡東小の交流スペースは地域の人たちの発表や展示の場でもあったようだが今はどうなっているのか？

(松村委員)

昔のように地域の方が自由に出入りするのにはセキュリティの関係上難しい状況。

(本間委員長)

最後に、学校サイドからの人権教育総合推進事業についてお願いします。

(松村委員)

人権教育総合推進事業については、平成27年度から平成29年度の3年間にわたり文科省から地区指定を受けて地区内小中学校の学校教育部会と地区内各種団体の委員構成となる社会教育部会でそれぞれが研究テーマにそって研究、協議をすすめてきて昨年11月に大胡中において研究成果発表会が行なわれた。

学校、地域、家庭が連携して人権教育に取り組むことを目標にしてあいさつ運動やタスキの活用、チラシ配布等によるPRをすすめたことで、それなりの成果が残せたものと思う。

(本間委員長)

他に意見がないことを確認し閉会する。

